

生活排水の汚れを減らそう！

「7月27日は三河湾浄化の日」

環境課 ☎66・1122

三河湾の現状

今、三河湾では、工場や家庭から出される排水や川から流れ込むゴミなどで、海の底にはヘドロがたまり、魚や貝などの生き物がすみにくくなっています。それは、三河湾が外海と接する湾口部が狭く、水の出入りがよくないため、一度汚れると、なかなかきれいにならないからです。

また、こうした海の汚れが、赤潮や青潮の原因になったり、竹島の海を覆いつくすほどの大量のアオサの発生要因でもあります。

この海水の汚れの一番の原因は、三河湾に流れ込む汚れの57%を占める生活排水です。

三河湾をきれいにするために、わたしたち一人ひとりが、日ごろの生活の中で出す生活排水の汚れの大きさを知り、海や川を汚さないように次のことを実践しましょう。

★家庭での取り組み

★食事から出る生活排水対策

・食器は、油などの汚れをふき取ってから洗いましょう。

・みそ汁、牛乳など汁物は、流さないようにしましょう。

・目の細かい水切りネットや三角コーナーを使って、調理くずや食べ残しを流さないようにしましょう。



・残った食用油は、できるだけ使い切るようにして、捨てる時は、新聞紙やぼろ布に染み込ませて燃えるゴミとして出しましょう。



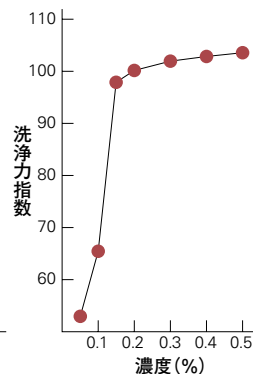
・食器洗い洗剤は、使いすぎないようにしましょう。

★洗濯から出る生活排水対策

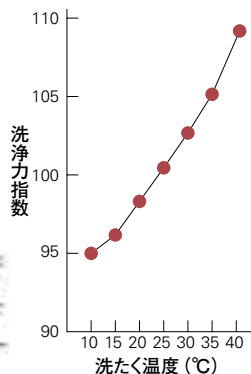
・洗剤は、たくさん入れても洗浄力は変わりません。必ず量って使用しましょう。(グラフ1)

・温度が上がると洗浄力が増加します。風呂の残り湯を使って洗濯をしましょう。(グラフ2)

グラフ1 濃度と洗浄力の関係



グラフ2 洗濯温度と洗浄力



環境庁「生活雑排水対策推進指導指針(昭和63年)」より

★下水道への接続、合併処理浄化槽への切り替え

未処理の生活雑排水を川に直接流さないよう、下水道へ接続したり、生活排水すべてを浄化槽に入れる合併処理浄化槽に切り替えると、生活排水の汚れをかなり除去することができます。

自然豊かな蒲郡の海を守るため速やかな切り替えをお願いします。

